

来光

第31号

浄土宗

迎 接 院

令和4年7月

HP



LINE



いつく
慈しみ

住職 伊藤信道

『来光』第31号をお届けします。『山陰中央新報』の一面に「中村元 慈しみの心」が連載され、好評を博しています。その記念すべき第1回に掲載されたブツダのことば「慈しみ」を紹介します。

慈しみ

一切の生きとし生けるものは、
幸福であれ、安穩あんのんであれ、安楽であれ。

一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。

何びとも他人を欺あざむいてはならない。

たとどこにあっても他人を軽んじてはならない。

互いに他人に苦痛を与えることを望んではならない。

この慈しみの心づかいを、しっかりとたもて。

「ブツダのことば」中村元訳

仏教は「*出世間の教え」ですので、「仏教が世界を救う」という文脈で語られることはそぐいません。しかし仏教の教えは、この世で苦しむ人の「闇を照らす燈ともしび」になります。そして、この「慈しみ」の言葉を信じ、この言葉の示す道を実践していく中で、心に安穩あんのんが生まれます。また実践者が増えていくことで、結果的に世界も優しくなっていく。



ロシアによるウクライナ軍事侵攻が連日報道されています。今こそこの言葉が多くの人に伝わり、実践されることを望みます。1日も早く、戦争が終結しますように。合掌

*しゅっせけん
出世間：煩惱などのけがれに汚染された、この世界のすべての存在を「世間」というのに対し、それを超越しているものをさす。

維持費増額のお願い

本年の役員会で維持費の増額をお願いすることとなりました。現在の維持費は、平成8年に見直しを計り、今日まで26年間現状維持で運用に携わって参りました。諸費用の値上げ等により、運用に行き詰まりをきたしており、ここ数年検討を重ね、本年の役員会で維持費増額をお願いすることとなりました。負担増をお願いするのは真に心苦しいのですが、何卒ご理解の程お願い申し上げます。合掌

花まつり (灌仏会) に今年はイベントを開催!

「Mother Nature～母なる自然とすべての生命を慈しむ～」

お釈迦様のお誕生をお祝いする恒例の迎接院「花まつり」を月遅れの5月8日(日・母の日)に行いました。今年は特に書院で標記のイベントを開催しました。花まつりは、お釈迦様をお産みになったマーヤ様がお母様になられた日でもあります。マーヤ様は、出産の7日後に亡くなられたと伝わります。命がけでお釈迦様をこの世に送りだして下さったマーヤ様へ感謝の想いをもちたいものです。



当日は小さな子どもさん連れのご家族、あるいは初めて迎接院にお参りされた方も多くおられとても喜びました。素敵な出店者さんに恵まれ、あたたかい花まつりとなりました。

紅茶販売

圧迫ほぐしケア



ルーム スプレー

ネイル ケア



バイクド スイーツ販売

アロマ スプレー



迎接院で毎月ヨガ教室を開催し、この度の花まつりイベントの企画の中心となってくださった岡本美穂先生からの寄稿を紹介します。

8日母の日に行われた迎接院様でのお釈迦様のお誕生を祝う花まつり&同時開催のイベント🌸 Mother Nature ~母なる自然と全ての生命を慈しむ~

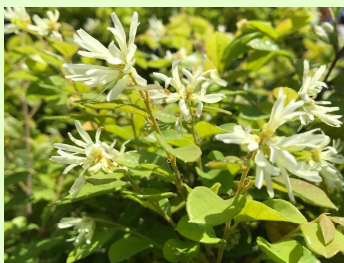


出店者として過ごしましたが、今日も余韻に浸るくらいに慈愛に満ちた心地よい一日でした。

日頃、地域の方々やお檀家さんを大切にされている和尚さんと奥様の紀子さんが真心こめて守っておられるお寺。



参拝者さんの中には、初めて迎接院さんにお参りされた方も多数おられたようですが、御本堂の花園のようなあ



たたかき、心地よさに癒されておられたようです。

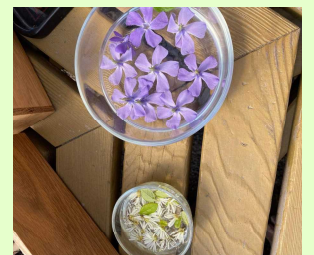


イベントにもたくさんの方にお越し頂いて、出店者みんながフル稼働でした。幅広い年代の来場者さんに喜んでもらえ

たみたいで嬉しいです。



わたしは朝から、お寺周辺を散歩してお檀家さんの庭で参加者さんと共に花と交流しフラワーウォーターをつくったり、フラワーエッセンスでルームスプレーをつくるワークショップ（体験型講座）や、フラワーエッセンスでガーデンパーティーを開いて、一日中お花に酔いしれて幸せでした。



書院の床に紀子さんが掛けてくださっていたお軸「慈心相向佛眼相看」じしんそうこうぶつげん「慈しみの心で相手に向かい、佛様の眼差しで相手を見る」という意味だそうです。優しいですね♡



優しい眼差しと微笑みで接し、自ら楽しむ出店メンバーさんたちと今回のイベントを創れたことも喜びです。

言葉にならないことが一杯です。ありがとうございます。



選 択 集 十 六 章 之 図

ぞうぜん
雑善に約対して、念佛を誉める章
せんちやくしゅう
選 択 集
だいいちじゅういち
第 十 一 章



第十一回 對雜善口誦數念佛章

第十一章段で、お釈迦様は様々な修行（雑善）と比べてお念佛のみを
ほ 誉め讃えられます。

『^{かんむりょうじゆきょう}觀無量壽經』の「もし念佛せん者、まさに知るべし、この人はすな
わちこれ人中の分陀利華なり。觀音菩薩、勢至菩薩、
その勝友となる」の文が引用されます。お念佛をお
称えする人こそ最も勝れている「人中の分陀利華
(^{びやくれん}白蓮の花)」と讃えられました。そのことを^{ぜんどうだい}善導大師
は『^{かんぎょうしよ}觀經疏』において、「人中の好人・妙好人・上々人
・希有人・最勝人」であると述べられます。また念佛
者はこの世において、^{かんのんほきつ}觀音菩薩と^{せいしほきつ}勢至菩薩が勝れた友
となって、一時も離れることなく、常に寄り添い護っ
てくださることが説かれます。



絵図には、僧や男性、女性の姿が描かれています。彼らは皆絶えること
なく念佛する非常に^{まれ}稀な念佛者を表しています。その様子は他に比べるも
のがなく、泥の中に咲く色とりどりの蓮の花の中で、最も稀少で美しい
華を咲かせる^{びやくれんけ}白蓮華に^{たと}喩えられます。彼らの頭上には阿弥陀様の救いの
み光「^{せつしゆ}攝取の光明」が届いています。

祝「寺子屋サロン20周年」



平成14（2004）年5月に発足した寺子屋サロンも、満20年になりました。この20年、毎週水曜日の集いを、一回一回積み重ねての20年。ようこそお出かけくださいました。先立たれた方々も、お浄土で一緒して下さっていることを感じながら、ともいきの20年です。

平成29年から令和3年の活動スナップを集めて、発足以来4冊目の写真集を作成致しました。これまで作ってきた3冊と並べてみると、大きさも形式もバラバラですが、どれも大切な迎接着の宝物です。平成の終わりから令和のはじめにかけての写真も皆さんの笑顔で溢れています。いつの日にかこの写真集を見るであろう、未来の人たちに自慢したい気持ちで一杯です。



20周年記念写真です。皆さん、これからも、よろしくお祈りします。

寺子屋サロンは、お檀家さんに限らず、どなたでも参加いただけます。気軽にお問い合わせください。水曜日の午前中は寺子屋サロンですよ！

写真集『子ども寺子屋の思い出Ⅱ』『花まつり』完成



平成24年から令和3年の思い出を綴った写真集を作りました。

また、本年春の「花まつり・Mother Nature ~母なる自然と全ての生命を慈しむ~」の写真集も完成しました。どちらもお寺の宝物です。お参りの際には、ぜひ手にとってご覧ください。

せがきえ 施餓鬼会のご案内

先祖廻向をお申し込みください

恒例の施餓鬼会を7月27日(水)10時30分の開筵かいえん ぶしゆうで奉修致します。昨年同様「三密」防止を考え本年も迎接院の僧侶のみで勤めます。参加も初盆

のお宅を優先にします。詠唱奉納は25日の念佛会

にて行います。また法要終了後の会食もできません。

賑にぎやかな法要を実施できないのは残念ですが、役員さんはじめ寺の者で精一杯勤めますので、何卒ご理解のほどお願い致します。法要の様子は、フェイスブック Facebook

「紫雲山迎接院」(迎接院ホームページから入れます)

上で紹介致します。オンラインでぜひご参加ください。



先祖廻向えこうは、塔婆とうぼの準備をしますので7月20日までにお申し込みください。先祖廻向のきようぎとうぼ経木塔婆は、京都で晃希が準備しています。また初盆廻向につきましては、別途ご案内致します。

たなぎょう 棚経について

本年の予定は下記の通りです。目安ですので急な変更はご容赦ください。コロナ感染を心配されるお宅は外から拝ませてもらいますのでご連絡ください。

棚経の日程の問い合わせが例年多くあります。一応の目安としては、

- 1日：皆生・淀江・箕蚊屋方面、夜見1区
- 2日：夜見1・2区
- 3日：尚徳・岸本・南部・福原・米原方面、夜見2区
- 4日：河崎・後藤ヶ丘・啓成・彦名方面、夜見3区
- 5日：夜見1・2・3・6区
- 6日：夜見新田・彦名・河崎方面
- 7日：境港・富益・河崎・両三柳方面
- 8日：(予備日)

☆初盆のお宅は、13日午後～15日の間に廻ります

☆葬儀や天候、廻り順等の影響で変更となる場合もあります。

随時、迎接院ホームページに掲載しますのでご確認ください。



古塔婆の始末も教化の縁に

本誌先月号で供養済みのお塔婆の始末について特集したが、これを改めて供養の機会に活かすお寺もある。日本海沿岸の鳥取県米子市の住宅街にある浄土宗迎接院だ。毎年十二月第二土曜日に行う「浄焚会」がそれ。当日は境内にお焚き上げ用のドラム缶が置かれ、周囲には四天王の札を掲げた結界が巡らされる（写真）。お焚き上げされるのは、古くなった塔婆だけでなく、三回忌を済ませた白木のお位牌や、前年の諷誦文なども。



お焚き上げで供養する迎接院の浄焚会

午後二時より、伊藤信道住職（五十六歳）が本堂でお勤めをしたのち、参列者の叩く木魚の音とお念仏が響きわたるなか、境内でお焚き上げを行うのだ。伊藤住職によると、以前は同地でも墓地で、それぞれに古い塔婆などを燃していた。「ですが、時代の変化でそれも難しいと声上がり、ちょうど私の代になる頃の平成二十年より浄焚会という新たな行事にしてお寺でお焚き上げを始めました」と伊藤住職は振り返る。と、これがなかなかの好評。一月の修正会に始まり、二月の涅槃会……と年中行事に加えて、毎月の定例行事も盛んな迎接院において、一年のしめくくりが浄焚会となる。「檀家さんからは『暮れに集まって、皆でお念仏を称えるのはいいものだね』というお声をいただいたいます」と伊藤住職。年忌だけでなく、故人を改めて偲びあう大切な機会でもあるのだろう。環境が許せば、こんな始末も検討したい。

お寺の情報誌『月刊住職』5月号に、迎接院の浄焚会が掲載されました。當山の役員さんをはじめたくさんの皆さんのお力添えで開催している行事の様子を、電話取材のみでまとめられたとは思えないほどの的確に記事にされたことに驚いております。本年も下記の日程で開催予定です。

浄焚会のご案内

浄焚会を下記の日程で行います。古くなった塔婆や白木の位牌をお焚きあげします。今年は令和2年にお亡くなりになった方の白木の位牌の焚きあげもします。皆さんのお念佛で、ご供養しましょう。



- とき 令和4年12月10日（土） 午後2時～
- ところ 迎接院本堂・境内にて

夏休み子ども寺子屋は、残念ながら感染予防の為に開催自粛と致します。ご理解くださいませ。 合掌

秋彼岸「佛さまと弓浜手作り市」のご案内

今秋の新型コロナウイルスの感染状況は想像できませんが、役員さんと相談し、第4回秋彼岸「佛さまと弓浜手作り市」開催の方向で準備に取り組むこととなりました。現在予定していることをお知らせします。基本的にはコロナ禍であった一昨年と同じ流れを予定しています。

日時：9月23日（金・秋分の日）

- ・参加者は、マスク着用&手指消毒。
- ・念佛行脚は昨年同様中止。
- ・「緋でインタビュー」を行います。
- ・活動は屋外中心。屋内は人数制限します。
- ・販売はテイクアウト中心。
- ・子ども先着30名にかき氷プレゼント。



中岡みずえさんが今年も来てくださいます。みずえさんとしゃべってみらいや！

出店者さんとも打ち合わせが進行中です。初出店のお



店も予定されています。お楽しみに！

◇日程◇

- 10:00～ 開白法要
- 10:30～ 出店紹介
- 12:00～ 緋でインタビュー
- 12:30～ 結願法要
- 13:00～ お祭り終了

☆変更することもあります☆

○内容は、現在検討中です



詳しい情報は、随時「迎接院ホームページ」や公式LINEでお知らせします。